

惜別 愛犬「キング」の思い出に寄せて

新春早々の1月5日午後6時45分に我が愛するダルメシアン^①の愛犬「キング」が突然逝った。享年は推定12歳。2007年12月14日に我が家にやってきたときに芦屋動物愛護協会の方から伺った話では、「多分10歳ぐらい」とのことだった。しかし、飼い始めてみると年齢を全く感じさせない鋭い感覚と、旺盛な食欲、元気にリードを引っ張る強い力があつた。

人が逝くときも寂しいが、犬とはいえ家族と同様に暮らした、その傷跡は消えるものではない。当初に預かる筈だった1ヶ月間はその後、日が経つに従って愛情が乗り移り半年、1年、1年半、2年間と瞬く間に「時」が過ぎた。最後の最後まで面倒をみて、看取ったのは妻だった。

早朝には妻が、夕方には私が夫々「キング」を連れて芦屋川とその周辺を散歩したが、もうその必要がなくなってしまう。いつも一緒に床を共にしていたので、寂しくなった。哀悼の意を表してチェロで、フランス・バロック音楽の小品「哀歌」を演奏しつつ、最後の別れを告げたのも現在では思い出の一部に過ぎない。

今回、芦屋動物愛護協会^②で最もお世話になった方から、心温まるメッセージが届いたので、その一端を感謝と共に、今後の励みとして次の文章を掲載させて頂く。

『思い返せば2年前のこと…最初お願いした時は、ほんの1ヶ月間だけのお預かりのほ
ずでした。結局飼い主さんの家庭の事情で飼養放棄になってしまったため、ポスターやインターネットで里親募集はしてみたものの、高齢犬だったせいか、なかなか良いご縁に巡り会えず、キング君はそのままそちらで居候生活を続ける形になってしまいました。上野さんご夫妻がとてとても愛情深くお世話して下さいだったので、キング君の幸せイッパイで心底楽しそうな暮らしぶりを見ていると、別の新しい飼い主さんを探せなくなりましたという事情も背景にはありました。』

何度も飼い主に飼養放棄をされた経験を持つ可哀想なキング君でしたが、最後にはこんなに良いご縁に巡り会えて、とても幸せな晩年を過ごすことが出来たのですから、彼にとつてはこれで良かったのだと思っています。

本当に長い間お世話になりました。いつも申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、改めて心よりお礼申し上げます。

キング君、お世話になったパパとママのことをちゃんと天国から見守っていてね♪』



愛する「キング」の逝去に当たり、この他にも多くの方々から私のブログへのコメントやメール、電話等でお悔やみと慰めを頂いた。この場を借りて感謝と御礼を申し上げる。

上野 克二

800字コラム【僕の伝言板】(<http://d.hatena.ne.jp/katchan/>)

犬連れ旅行記 犬も泊まれる カニと温泉の宿

冬は美味しいものが満載で、食いしん坊にはとても嬉しい季節ですね。

「カニは食べに行きたいけど、犬が居るとなかなか旅行に行けなくて…」と悩んでいる飼い主さんに朗報です!愛犬と一緒に日本海でカニを食べることが出来るんです。天橋立から少し入ったところの静かな一角に佇むその宿の名前は「里の宿 川尻」
民宿ではありますが、成相観音湯を源泉とした温泉も完備しているゴキゲンなお宿です。犬も飼い主さんと一緒に客室に泊まれるし食事はお部屋でゆっくり頂けるので安心です。(最低限の躰が必要なのは言うまでもありません。念のため)

まずは、風光明媚な天橋立へ。片道で約4kmあって、なかなか普段は歩かない距離かもしれませんが、愛犬と一緒に景色を楽しみながら是非チャレンジして下さい。往復歩くのは不安な方も心配ご無用!高速艇は犬も乗船OKなので、片道で疲れちゃった場合でも楽々帰って来られます。

